

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

ミッション 内容

- ・みはらしファーム全体の運営管理
- ・企画・営業（インバウンド誘致）、イベントの企画・運営
- ・はびろ農業公園管理組合構成団体との連携・調整

今年度 おもな 活動成果

① 運営・調整

みはらしファーム全体および公園事務所内業務の運営補助、関係団体との連携・調整

② 企画・実施

イベント・展示・体験コンテンツの企画、準備、当日運営

③ 情報発信・誘客

SNS・外部メディア等を活用した情報発信、広域的な誘客の推進

来年度 ・卒後

構築した基盤を活かし、継続性のある取り組みへ発展させる。

- ・「草の家」に関する記録・整理・体系化の継続
- ・みはらしファーム全体の魅力発信への協力
- ・外部ネットワークを活かした連携可能性の検討

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆今年度の主な活動成果（全体像）

① みはらしファーム全体の運営・業務支援

- 各種イベントの準備、当日運営、記録対応
（いちごフェスタ、アスパラダイス、ブルーベリーフェスタ、秋のトレッキング、秋のフルーツフェスタ、新そばまつり等）
- 会議対応（幹部会議、運営会議、公園事務所会議等）
- 来場者・電話・体験対応など窓口業務全般
- 広報活動（撮影、発信）
- 業務の効率化・システム化に向けた検討

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆今年度の主な活動成果（全体像）

② 文化資源「草の家」への参画

- ・ 保存活動・地域交流・認知拡大への参画
- ・ 記録・展示・情報発信による価値の可視化

③ 外部連携による情報発信

- ・ 大手航空会社との連携による広域的な情報発信

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆文化資源「草の家」への参画～保存活動～

目的

さき織り・染め物の魅力を後世に残すため、作品の記録・保存を行い、文化的価値を可視化する。

活動概要

- ・ 東京の美術館展示会出品作品を中心に記録を実施
- ・ プロカメラマンによる作品撮影

実施時期

2025年11月



みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆文化資源「草の家」への参画～保存活動～

活動内容

- 企画、準備、設営、当日の撮影対応
- 会場・事業者の選定および関係者との調整

今後の展開

撮影した画像をWEBサイトやSNS等を開設し、さき織り・染め物の魅力発信を行うことで、来訪者および関係人口の増加を図る。

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆文化資源「草の家」への参画～地域交流と認知拡大～

目的

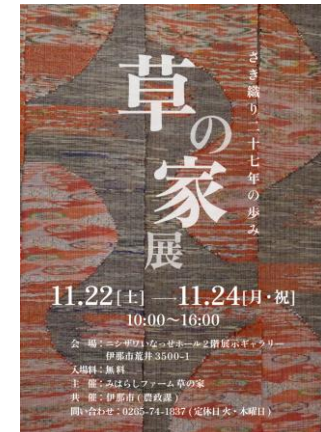
「草の家」の取り組みや価値について、幅広い層への理解促進を図る。

開催日

2025年11月22日（土）～11月24日（月・祝）

活動内容

- 企画、準備、設営
- チラシ作成、広報活動（テレビ・WEB・新聞等への情報提供）
- 会場、事業者の選定と関係者との調整
- 会場来場者対応、アンケート実施



みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆文化資源「草の家」への参画 ～地域交流と認知拡大～

効果

① 来場者・現場での効果

- 来場者数：1日約50名、3日間で延べ約150名
- 来場者との直接対話による認知向上
- 作り手の意欲向上や支援者創出につながる成果を確認

② 広報による波及効果

- 広報活動を通じて、新聞社・テレビ局等5社以上のメディアに取り上げられた
- 市内外への認知拡大につながり、新たな来訪・関係人口創出の可能性を確認

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆文化資源「草の家」への参画 ～地域交流と認知拡大～

今後の展開

WEB・SNSを活用した継続的な情報発信を行い、来訪促進につなげる。
また、アンケート結果を踏まえ、継承や持続的な活動につながる展示手法や商品開発の可能性について検討を進める。

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆大手航空会社との連携による情報発信

経緯

これまでの人的ネットワークを活かし、連携が実現。

目的

既存の来訪者層とは異なる層への情報発信・誘客を図る。

活動内容

- 企画の打ち合わせ
- スケジュール立案と関係者との調整
- 撮影当日のアテンド
- 掲載記事内容の確認

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆大手航空会社との連携による情報発信効果

- 2025年12月26日（金）記事公開
- 新規層への認知拡大および顧客開拓への寄与が見込まれる

今回はそば打ち名人に本格的なそば打ちをご指導いただきました。
「水まわし」から始まり「切る」まで合計10つの工程を約2時間で進めていきます。



そば打ち体験「水まわし」の工程



うごけ柿の収穫

伊那市は歴史の古い産物に自負し、近年の消費量が大きいことがりんごの産地に選んでおり、こうした果樹栽培がりんごの産地を高め、日あつと味のバランスがよい果実に育っているそうです。

実際にやってみると、とっても難しい!! 手だけでなく、足も同時に使い、纏っていく作業に没頭してしまいました。



調子の説明を聞く様子

さあ織り体験をする様子

徐々にコースターができてきました。



(参考) 掲載記事URL記載

https://travel.watch.impress.co.jp/docs/series/jal_furusato/2072563.html

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆地域交流「さつまいもイベント」

目的

昔ながらの焼き芋体験を通じ、地域関係者と来場者の交流促進を図る。

開催日

2025年11月15日（土）

※当初開催日の11月9日は雨天のため延期

イベント内容

- 落ち葉拾い
- 焼き芋準備（ホイル巻き）
- 焼き芋体験



みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆地域交流「さつまいもイベント」

活動内容

- 会場調整、関係者との調整
- 予約システム構築
- チラシ作成、広報、当日運営
- 会場準備、設営



効果

- 雨天による日程変更にもかかわらず33名が参加
- 当初予定では、県外（東京・愛知等）からの参加申込もあり、広域的な関心を確認

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆来年度の活動・卒後の展望

方向性

これまでの活動を通じて蓄積してきた記録や関係性を活かし、「草の家」で育まれてきた文化的価値と、みはらしファーム全体の魅力をあわせて発信する。

それにより、来訪者の理解促進と関心喚起を図り、継承と活用が両立する持続的な取り組みにつなげていく。

みはらしファーム活性化プロジェクト

桃井八重 / 農政課 / 任期：令和6年4月～（2年目）

◆ 来年度の活動・卒後の展望

① 文化資源「草の家」に関する取り組み

- これまでの活動・作品・記録の整理および活用
- 制作背景や技法等の体系化による価値の可視化
- 作り手・訪問者・地域・支援者をつなぐ接点づくり
- 将来的な継承を見据えた体制・仕組みづくりの検討

② みはらしファーム全体に関する取り組み

- SNS（YouTube等）を活用した継続的な情報発信
- ファームで体験できる内容や魅力の整理・発信
- 来訪前からイメージしやすい情報提供による来訪促進